

令和5年度 第1回 日野市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業推進協議会議事録要旨

令和4年度事業実施状況について委員からの質問

・ 昨年のポピュレーションアプローチ実施内容について、3年ぐらいかけて担当地域の通いの場を把握しているということだったが、今回関与を行っていくように計画をするということに変わっているのですが、具体的にどのような形でかわりが変わっていったのか教えてほしい。

令和5年度事業について委員からの意見・質問

・ 高齢者の健康課題が一番上にあり、フレイルは低栄養と口腔機能低下だけではなく全身の骨格・体幹の筋力低下・咀嚼や嚥下の低下・筋力低下を評価、予防というところが、低栄養と口腔機能低下だけに限定するとあまりにも狭いので、もう少し広い範囲のことをやったほうがよいのではないかと感じてる。令和4年度の実数を見ても5人、10人、そういう単位の数で何々しましたっていうだけでは、日野市全体の介護認定率や医療費を下げるというような実益、最終的なゴールにはとても及ばない。0.01%っていうような数字のところまでそれでいいっていうのはやっていて楽しくないのではないかと感じる。

こういうことに興味を持っている市民が少ない、例えば耳鼻科の医者も私は興味持っているけど何人かはそういうことは興味を持たない、整形外科の先生は興味を持たない、だからそういう啓発活動に参加する医者がいない、そういうのが実は市役所としては困っているのだろうと思う。そういう市民についても、いかに巻き込んでいっていかっていうところに注力しないと、今やっていることで良しとし、レポートを出していきましょうっていうふうにまとめない方がいいんじゃないかっていうのが私としての意見。

決して市役所の人の仕事はだめだって言っているわけではなく、そういう風にせざるを得ない実態があるから、それをどうするかっていう様に考える方向の方が方向性としてはいいのではないかという考え。

・ 昨年度のポピュレーションアプローチの結果で、サロンとかに来ている人はフレイルリスクが低い傾向がみられたということが述べているが、サロンにも来ない人たちにフレイル予防が必要だと思うが、そういったところへのアプローチをどのように考えているのか。

・ 出てこない人は全く出てこないような現状で、既存のサロンは慣れている人がいるから行きたくない、新しく仲間に入ることが難しいと言っている人たちも結構多く聞かれている。サロン等こんなのがありますよっていう話をし、それがサロンに通うということにつながるというのが、私は大事なかなと思う。そういうのも併せてでいけるような機会を別のサロンという形以外でも考えていただければいいかなと思う。そういったことも来年度に向けて検討していただければと思う。

・昨年は対象者と比べて非常に人数が増えているということと、その中で事業に、例えば口腔機能低下予防でしたらその中の参加希望者が多かった。

特に今年度の後期高齢者歯科検診の内容が一新されましたので、その中でオーラルディアドキネシスですとか舌圧計をされていて現状すごく受診している方が多くて、しかも歯科医会の中でそういう受診した方の意識が上がっている方が多い。そういう点がこの事業にとつながっていけば大きくなっていくのではないかと思います。

・介護医療保険料のことはどんな形でこのデータから見えるのか。ここに介護保険利用の方の要件、データはあまり反映されないのかなと。

ケアマネがついていればある程度はかなり把握していると思う。

認定を受けているけどまったく使っていない方をこの事業全体像を見るとその方をぜひ入れてあげてほしいというか、ケアマネについてはある程度その辺のフレイルのことも考えるし、色々な手を考えていく中で、この事業に関わっているケアマネさんもいると思うのでその辺はご相談でももちろん良いと思います。もっと埋もれている方に、サロンに行けない方に光を当ててもらいたいと思います。

・歯科医会でテーマとしてでているのが、後期高齢者歯科検診自体の年代が限られていることについて。80歳以上の方は見ていくことができない。それに対しての今後の対応をお願いしたいということと、実際にいきいき健康プログラム自体の対象となる年代別な変化ってというのはどうなっているのか。つまり70歳代・80歳代・もっと上の年代っていう形で、参加する方の世代っていうのは変わってくるのかどうか。日本全体で高齢化しているっていうところが年代別でどう見ていくかっていうのがたぶん大事になってくると思いますのでよろしくお願いいたします。

・サロン以外の部分で例えば今口腔ケアの部分の指導を受けたとしても、その後どういう形でいくか、後はもっと若いうちからということで以前は特定高齢者みたいな形で短期集中で口腔ケアの勉強をするような場所というのがあったのですが、今後そういった形で市民を対象としたそういった講座とかは、今後の受け皿とそれから啓発の部分でもこれだけ気になる方が増えているのであれば、そういう場をどこかで作っていただかないと口腔ケアのホームワークのところは歯医者さんに行くか口腔ケアをやっているデイサービスのところっていうことになってしまうと、「やっぱり介護保険使うしかないよね」っていうことになりかねないので、誰でも行けるような市民向けの講座とかそれも行き場所であるかと思いますが検討していただければと思います。